

2016年

電子情報通信学会総合大会

大会スローガン

**安全・安心・快適な
ネットワーク社会を目指して!**



提供：福岡市

会期：2016年3月15日(火)～18日(金)

<http://www.ieice-taikai.jp/jpn/>

■ プレナリーセッション

1. オープニングセッション (3月17日 9:30-10:20)



小柴 正則 / Masanori Koshiba

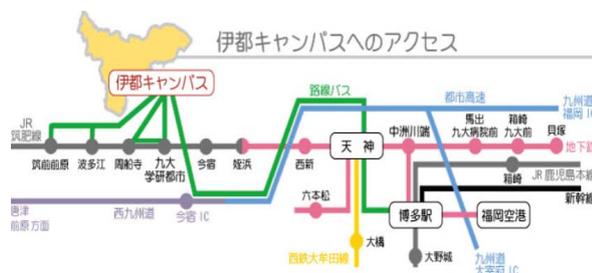
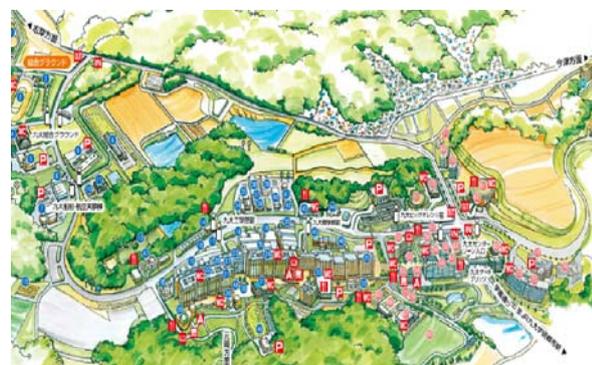
北海道大学キャリアセンター長・特任教授
電子情報通信学会会長

次の100年：持続可能な学会に向けて

The Next 100 Years: Towards a Sustainable Academic Society

本会は、2017年、創立100周年を迎えます。これまでの100年、本会は、エレクトロニクスや情報通信分野における科学技術・学術の振興・発展に、基幹学会としての役割を着実に果たしてきましたが、今、国を挙げて「超スマート社会」の実現を目指す中で、本会が果たすべき役割は、質的にも量的にも、これまでとは異なる次元で拡大しています。一方で、少子高齢化・人口減少社会を迎え、本会が抱える課題も山積しています。本講演では、こうした課題を会員の皆様と共有し、本会が持続的に発展していくための課題解決に向けた取組の一端を紹介します。また、電子情報通信分野は一時の勢いを失い、元気がないとも言われていますが、本当にそうでしょうか？ いや、そうではないことを、実はこぶる元気であることを、いくつかの事例を取り上げて、お話しさせていただきます。

会場：九州大学(伊都キャンパス)
福岡県福岡市西区元岡 744



2. サイバーセキュリティを理解する (3月17日 10:30-12:00)



藤田清太郎 / Seitaro Fujita

内閣サイバーセキュリティセンター
内閣参事官



西本 逸郎 / Itsuro Nishimoto

株式会社ラック
取締役 専務執行役員 CTO
兼 標的型対策本部 本部長
兼 スマート・ビジネス・ファクトリ GM



後藤 厚宏 / Atsuhiro Goto

情報セキュリティ大学院大学
情報セキュリティ研究科
研究科長・教授

政府のサイバーセキュリティ政策について

企業や個人の活動領域がサイバー空間に広がる中、IoT機器から制御系機器までサイバー攻撃の脅威も拡散しています。政府では、サイバーセキュリティ基本法に基づく新戦略の策定を行うとともに、関係者間での情報共有や連携等の取組を強化しています。政府における政策の総合調整を行う内閣サイバーセキュリティセンターの視点から、最新の取組状況や今後の方向性について紹介します。

昨今のサイバーセキュリティインシデントの傾向 ～悪質化している APT 攻撃について～

日本語のおかしい標的型攻撃メールが未だに来到という話をよく耳にします。認識が甘いのは我々サイドだというのがこのことからよくわかります。それも手口の一つだからです。ラグビーワールドカップの南アフリカ戦を思い出してください。日本代表の波状攻撃はやみくもに突っ込んでいくわけではないのです。同じように一つ一つが計算され相手の油断、辟易、ミスなどを誘って突破を図っていることから理解をして対策を講じる必要があります。

サイバーセキュリティへの取組みと人材育成 ～2020年までにやるべきこと

近年、社会経済のインフラへのサイバーセキュリティ攻撃の脅威が現実のものとなっています。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を迎える我が国が必要とする、強固なサイバーセキュリティ確保のための技術開発、その社会実装に必要な組織的な枠組み、および技術と組織を動かすための人材育成のあり方について議論します。

総合大会特別企画

サイバーセキュリティ最前線

3月15日午前

サイバーセキュリティのための人工知能技術
情報・システムソサイエティ

サイバー攻撃が高度化する中で、人間の知識の活用や意思決定を支援する情報システムが求められています。そこで、サイバーセキュリティに人工知能および知識処理技術を適用する論文を集め発表します。

3月16日午前

大学におけるサイバーセキュリティ対策の
アウトソース
プログラム委員会

サイバーセキュリティ対策の有識者である教員と、高度な対策を可能にする製品、サービスを提供する企業によって、実用的な大学におけるサイバーセキュリティ対策について議論するジョイントセッションです。

3月16日午後

サイバーセキュリティとプライバシー問題
通信ソサイエティ

ネットワークから収集できる情報は多様で、名寄せすることで個人を特定することも容易となりつつあります。プライバシー情報を収集する技術動向を、ネットワーク運用や法的な観点から論じます。

3月17日午後

サイバーセキュリティを支える
情報セキュリティ基盤技術
基礎・境界ソサイエティ

サイバーセキュリティを支える情報セキュリティ基盤技術として、セキュリティの国際規格、セキュア実装、サイバー社会に適したセキュリティ技術など、各分野の専門家から技術動向を紹介いただきます。

3月18日午前

国際連携によるサイバー攻撃の予知・即応
情報・システムソサイエティ

総務省の国際連携によるサイバー攻撃予知・即応プロジェクトに携わった研究者から、サイバー攻撃の動向、攻撃対策に関する国内外の連携体制、攻撃検知・即応技術など最新の知見を披露いただきます。

IoTがネットワークを変える

3月15日午前

都市と市民のためのCPS（サイバーフィジカルシステム）の姿を描く
プログラム委員会

「収集したデータを活用して、対象とする活動の最適化を最大限図ろう」とするコンセプトを社会活動全体に広げ、市民の快適さも達成しようとする試みを集め、将来の社会システム像を描きます。

3月15日午後

IoT時代の無線システムのあり方
通信ソサイエティ

Things（機械・モノ）と仮想世界をつなぐ無線システムの在り方を議論するパネルセッションです。無線の技術視点に留まらず、アプリケーション・利用環境など周辺技術に広げた討論を行います。

3月16日午前

IoTシステムの技術動向と実用化
エレクトロニクスソサイエティ

IoTシステムを実現するための要素技術の技術動向、及び、IoTシステムの実用化に向けた課題と取り組みを、要素技術の立場と応用の立場の両面から論じ、IoTの将来の展望を議論します。

3月16日午後

IoT：「つなぐ」ことで創出する価値と
今後の課題
企画室

IoTにより大きな価値をもたらすイノベーションが始まっています。一方、サイバーセキュリティやプライバシーなどの課題があります。そこで、当学会として政策課題解決に向けた取り組みの強化を図ります。

3月17日午後

5G/IoTに向けたエッジコンピューティングの
技術動向
通信ソサイエティ

膨大な量のセンサ情報の伝送に際して、セマンティクスに踏み込んで前処理を行い、クラウドサーバへの伝送量を減らすエッジコンピューティングについて、企業、大学等の技術者を招きパネル討論を行います。

懇親会

日時：2016年3月16日（水） 19：00～21：00

場所：福岡海鮮酒場 博多家（はかたハウス）

福岡市中央区港3-1-75 TEL：(092)406-8999

参加費：一般 5,000円 学生 3,000円

申込：聴講申し込みの際に、あるいは総合受付でお申し込みください。お支払いは総合受付で承ります。会場でも受け付けますが、満員になりますと入場できない場合があります。なお、ご登録頂いても、お支払いの手続きをされた方が優先されますので、予めご了承ください。



聴講参加申込

申込期間：2016年1月7日（木）～2月12日（金）
締切厳守（電話による予約は不可）

聴講参加申し込みは下記URLからWeb登録をお願いいたします。



URL：http://www.ieice-taikai.jp/jpn/

お問い合わせ先：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館内

一般社団法人 電子情報通信学会 大会課 大会聴講参加申込係

TEL：(03)3433-6691, FAX：(03)3433-6659

E-mail：tk-tyoko@ieice.org